

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020・122500
-----	-----	-------	-------	---------	---------------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業企業化資金利子補給事業補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	農業企業化資金助成規則				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先				(5)個人に対する補助金・負担金	
	めぐみの農業協同組合				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	融資機関(めぐみの農協)			に対して	
	手段	予算の範囲内で利子に対して助成			を行うことで	
	受益者	融資機関から資金の貸付を受けた農業者			が(を)	
	意図	農業経営の近代化及び農業後継者の育成に資する			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	53	年度
⑦事務局体制	主に市の担当課	主に支出先団体	○	その他 ( 非該当 )		
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	H31決算	R2決算	R3予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	借入残高の1%
	276	207	144	284		単価を定めている→算式	
						定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円		R2歳出決算額	千円		翌年度繰越額
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%		○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	農業後継者の育成のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	施設資金等の融通を円滑にするため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	農業者の資本装備の高度化を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金				補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	農業経営基盤強化資金利子助成交付要綱				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先	(株)日本政策金融公庫				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
	(6)その他						
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	県の支出分	負担額	8 千円	
⑤支出の目的	対象	融資機関				に対して	
	手段	予算の範囲内で利子に対して助成				を行うことで	
	受益者	融資機関から資金の貸付を受けた農業者				が(を)	
	意図	効率的かつ安定的な農業経営の支援及び育成を図る				という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	10 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(非該当)			
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	借入金の0.15%
	58	24	17	11	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円	R2歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input checked="" type="checkbox"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	農業後継者の育成のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	施設資金等の融通を円滑にするため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	農業者の資本装備の高度化を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	近年、資金借入者が少なくなってきたおり、助成金額も減少している。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	生産調整推進事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市農事改良組合連絡協議会			に対して	
	手段	奨励作物・地域営農推進活動の助成			を行うことで	
	受益者	地域の農業者			が(を)	
	意図	生産調整を円滑かつ効率的推進及び転作田の高度利用と担い手の育成確保を推進する			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	昭和 63 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ( )	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	2,771	2,107	2,253	3,550	○単価を定めている→算式	10,000円/10a等
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	2,253千円	R2歳出決算額	2,253千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合			100.0%	決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
	4統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)					

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	いちご優良種苗育成事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱		
	③支出先			中濃いちご生産組合		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	中濃いちご生産組合			に対して	
	手段	いちごの優良親苗代金の一部補助			を行うことで	
	受益者	組合に加入する農家			が(を)	
	意図	いちご優良種苗確保による品質向上、いちごの振興及び産地規模拡大を図り、市場における有利販売ができる			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 53 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	50	49	41	150	○単価を定めている→算式	@20円/1本	
②過去における見直し状況						定額補助・負担	その他 ( )
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	528 千円	R2歳入決算額	528 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		7.8 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新規栽培農家の確保と担い手農家の育成が求められる。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	里芋産地育成事業補助金				補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市農林業振興補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 中濃里芋生産組合					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
	(6)その他					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	中濃里芋生産組合				に対して
	手段	里芋種購入費の一部補助				を行うことで
	受益者	組合に加入する農家				が(を)
	意図	地域特産である円空里芋の有利販売と農業所得の向上を目指す				という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	元	年度
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし	○	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	種芋:1/2
	0	133	79	329		単価を定めている→算式	
						定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	158 千円		R2歳出決算額	158 千円		翌年度繰越額
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	50.0 %		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	新規栽培農家の確保と担い手農家の育成が求められる。			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	なす産地育成事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱				
③支出先	中濃夏秋茄子生産出荷組合				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	中濃夏秋茄子生産出荷組合関市支部			に対して
	手段	苗木購入代金の一部補助			を行うことで
	受益者	組合に加入する農家			が(を)
	意図	優良苗木の確保による品質の向上と夏秋茄子の振興及び産地規模の拡大を図り、市場で有利に販売できる			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 58 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ( )	
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	97	88	85	120	○単価を定めている→算式	1本あたり20円
				定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	968 千円		R2歳出決算額	968 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	8.8 %		決算額を把握していない		
		翌年度繰越額		0 千円		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新規栽培農家の確保と担い手農家の育成が求められる。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市ゆず生産振興事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先		かみのほゆず株式会社	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	かみのほゆず株式会社			に対して
	手段	ゆず苗購入費、有機肥料購入費の一部補助			を行うことで
	受益者	ゆず栽培農家			が(を)
	意図	ゆずの産地化を形成し品質の向上を図る			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 13 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	141	141	0	141	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	1本につき300円等
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円		R2歳出決算額	0千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	#DIV/0! %		決算額を把握していない		
	翌年度繰越額	0千円				

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	ゆずの需要は年々増加傾向にあるため、生産量確保するため生産農家の育成が急務となっている。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市茶生産振興事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱			(5)個人に対する補助金・負担金		
③支出先	津保茶生産組合			(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	津保茶生産組合			に対して	
	手段	茶肥料等の購入額の一部補助			を行うことで	
	受益者	茶の栽培農家			が(を)	
	意図	茶の品質を向上させ産地形成を図る			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 17 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○補助・負担率を定めている→補助率	購入額の1/3(限度あり)
	70	20	27	576	単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	83千円		R2歳出決算額	83千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	32.5%		決算額を把握していない		
		翌年度繰越額		0千円		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市農産物残留農薬自主検査支援事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	関市農産物残留農薬自主検査支援事業補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市農産物残留農薬自主検査支援事業補助金交付要綱		③支出先	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
③支出先	ぎふクリーン農業生産登録者			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合	負担額 千円		
		県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	65 千円
⑤支出の目的	対象	ぎふクリーン農業生産登録の更新を行うため、ぎふクリーン農業生産登録者		に対して		
	手段	更新用件である残留農薬自主検査を実施する費用の一部補助		を行うことで		
	受益者	生産登録者		が(を)		
	意図	安全・安心・健康な農産物の安定的な供給を図る		という状態にする		
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 20 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 ( 中濃農林農業普及課 )		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R2予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	検査料の1/4(限度あり)
	49	0	32	85		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	143 千円		R2歳出決算額	143 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	22.4 %		翌年度繰越額 0 千円		
	決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	園芸特産振興連絡協議会補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先		関市園芸特産振興連絡協議会	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市園芸特産振興連絡協議会			に対して
	手段	農産物残留農薬検査・廃プラスチック処理費の一部補助			を行うことで
	受益者	協議会に加入する生産農家			が(を)
	意図	生産地の信頼を高めるとともに生活環境の保全に努め、農業経営を安定させる			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 19 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ( )	
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○補助・負担率を定めている→補助率	1/2等
	553	343	469	594	単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	1,180千円		R2歳出決算額	1,180千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	39.7%		翌年度繰越額 0千円		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農産物生産加工組織活動支援補助金				補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市農林業振興事業補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					農産物生産加工組織	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							(5)個人に対する補助金・負担金
							(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	農産物生産加工組織				に対して	
	手段	事業経費の一部補助				を行うことで	
	受益者	農家				が(を)	
	意図	農産物の生産・消費拡大と所得の向上を図る				という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	27	年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	負担なし	○	負担あり	負担額	平成村入金金 あたり	10,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	事業費×1/2(上限あり)	
	200	200	0	600		単価を定めている→算式		
						定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円		R2歳出決算額	0千円		翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合				##### %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	鳥獣被害防止総合対策事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	関市農林業振興補助金				
③支出先	関市鳥獣害防止対策協議会				
④国・県の負担		国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input checked="" type="radio"/>	県の負担あり	負担割合	10/10	負担額 13,350 千円
⑤支出の目的	対象	関市鳥獣害防止対策協議会・構成団体が市の鳥獣被害防止計画に基づき実施する事業		に対して	
	手段	事業費の負担		を行うことで	
	受益者	農業者等		が(を)	
	意図	農作物への鳥獣被害を軽減する事による農業経営の安定化		という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 18 年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	100%
	16,215	17,453	13,370	14,914	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="radio"/> その他 ( )
②過去における見直し状況	国の補助事業であり、国による見直しが行われている。					
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	13,370 千円	R2歳出決算額	13,370 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	大規模に実施する事業が対象であるため、小規模農家への対応が必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	関市有害鳥獣被害対策事業補助金	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	している(担当課が事務局)	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	※	鳥獣被害防止計画に基づき事業を行っているが、被害の減少は目標に達しておらず、継続的な取り組みが必要である。
	交付先の事業成果は向上しているか	※	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	鳥獣被害防止計画に基づき事業を行っているが、被害の減少は目標に達しておらず、継続的な取り組みが必要である。 農地に限らず、市街地にも鳥獣が出没しており、市民の安全対策が急務である。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市有害鳥獣被害対策事業			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠				関市有害鳥獣被害対策事業補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先				農業者(54名)		(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
					○(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担		○なし		国の負担あり	負担割合	負担額
			県の負担あり	負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	農業者が行う、耕作地への鳥獣害防護柵の設置				に対して	
	手段	資材費の1/2(上限50,000)の費用補助				を行うことで	
	受益者	農業者				が(を)	
	意図	農作物への鳥獣被害を軽減する事による農業経営の安定化				という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 28 年度				
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	負担なし	○	負担あり	負担額	1件 あたり	1/2 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	1/2(5万円上限)
	1,818	1,731	1,934	3,510		単価を定めている→算式	
						定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	予算額の減額(3,600→3,510)H29						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	1,934千円	R2歳出決算額	1,934千円	翌年度繰越額	0千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		100.0%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	獣害対策は複合的な取り組みが効果的であり、防護柵以外の対策の検討が必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	鳥獣被害防止総合対策事業交付金(国庫)	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	多数の小規模農家を対象としているので、事業実績の把握は困難である。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	多数の小規模農家を対象としており、対策しなければ農作物が壊滅する場合もあるため効果はある。特に、山間部の農業被害は甚大で、対策が必須である。
	交付先の事業成果は向上しているか	把握していない	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	野生鳥獣の被害は深刻であるが、国庫補助事業は集落営農などが実施する大規模な事業を対象としており、小規模農家への対応が十分でなく、市での対策が不可欠である。			



令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市農業経営体育成支援事業助成金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
	②支出の根拠	関市経営体育成支援事業助成交付要綱		<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)			
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
				(5)個人に対する補助金・負担金			
				(6)その他			
③支出先	農業者						
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	3/10	負担額	0 千円	
⑤支出の目的	対象	市内に住所がある農業者				に対して	
	手段	台風21号で被災を受けた農産物の生産・加工に必要な施設・機械の修繕等				を行うことで	
	受益者	被害を受けた農業者				が(を)	
	意図	農産物生産施設の再建・修繕を支援し農業経営の維持を図る				という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 23 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	負担なし		<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	3/10
	517	222	0	0	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円	R2歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	ビニールハウス設置事業		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市農業用ビニールハウス設置事業補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
(3)一般負担金(団体等への負担金など)					
③支出先	農業者等	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
		○(5)個人に対する補助金・負担金			
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市内に住所及び農地を有する農家等		に対して	
	手段	ビニールハウスの資材購入費に対する補助金の支出		を行うことで	
	受益者	取組農家等		が(を)	
	意図	経営の安定、品質向上及び生産拡大を図る		という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 25 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	主に支出先団体	○ その他 ( 非該当 )		
⑧構成員の負担	負担なし	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	1/4
	180	149	36	200	単価を定めている→算式	
			定額補助・負担	その他 ( )		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	146 千円	R2歳出決算額	146 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		24.7 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	年々活用額が減少しているため、更に幅広い周知が必要である。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	機構集積協力金交付事業				補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市機構集積協力金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先					農地の所有者及びその地域の代表	○(5)個人に対する補助金・負担金
							(6)その他
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	10/10	負担額	24千円	
⑤支出の目的	対象	農地の提供者及びその地域の代表				に対して	
	手段	農地中間管理機構を介した農地の利用権設定による協力金の交付				を行うことで	
	受益者	農業の担い手				が(を)	
	意図	営農面積の集積・集約化により、効率化及びコスト低減化を図ることで農業経営安定を図る				という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	26	年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 非該当 )				
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R2予算	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	10/10
	1,364	3,575	24	1,350	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円	R2歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		##### %	<input checked="" type="checkbox"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	元気な農業産地構造改革支援事業補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	関市農林業振興補助金交付要綱				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先				(5)個人に対する補助金・負担金	
	農業者またはめぐみの農業協同組合				(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/4	負担額	22,154 千円
⑤支出の目的	対象	農業者またはめぐみの農業協同組合			に対して	
	手段	産地の基盤強化や市場ニーズを見据えた流通・販売や担い手の強化に向けた取り組みへの支援			を行うことで	
	受益者	農業者			が(を)	
	意図	儲かる農業の実現に向けた産地構造に転換し、経営の強化を図ることができる			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	26 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( 非該当 )		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	県1/4・市1/10
	11,798	44,875	7,049	3,446	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	22,154 千円	R2歳出決算額	22,154 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		31.8 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	6次産業化活動支援補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市6次産業化ネットワーク協議会				に対して
	手段	6次産業化に携わる農産物の生産者及び加工者の連携体制の構築、効果的な取組みによる新たな特産品開発、販路拡大の推進				を行うことで
	受益者	地域農業				が(を)
	意図	活性化と特産品振興に結び付く				という状態にする
⑥期間	R2年4月1日～R3年3月31日			補助・負担開始年度	平成30年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体	○その他( )		
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	1会員あたり	3,000円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	H31決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	200	200	0	200	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円		R2歳出決算額	0千円	
	H30歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		
R2歳入に占める補助・負担金の割合		%		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	中山間地域担い手育成支援事業		補助金の分類	<input type="checkbox"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 関市農林業振興補助金交付要綱			<input type="checkbox"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				<input type="checkbox"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 集落営農組織			<input type="checkbox"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input type="checkbox"/> (5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="checkbox"/> (6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	5447 千円
⑤支出の目的	対象	集落営農組織 に対して				
	手段	営農組織が導入する農業機械等に係る経費の一部またはめぐみの を行うことで				
	受益者	新たに設立された営農組織 が(を)				
	意図	初期投資を軽減し農業経営の早期安定を図る という状態にする				
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	平成 31 年度	
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課		<input checked="" type="checkbox"/> 主に支出先団体		<input type="checkbox"/> その他 ( )	
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし		<input checked="" type="checkbox"/> 負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	県1/2・市1/10
	0	10,599	6,536	0	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
		定額補助・負担		その他 ( )		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	6,536 千円		R2歳出決算額	6,536 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %		<input type="checkbox"/> 決算額を把握していない	
翌年度繰越額		0 千円				

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業6次産業化緊急支援事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
	③支出先			6次産業化認定事業者又は認定見込みの者、認定農業者、認定新規就農者、農業法人、農業者の組織する団体		
		○(5)個人に対する補助金・負担金				
		(6)その他				
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		○県の負担あり	負担割合	3/4以内	負担額	上限 3,000 千円
⑤支出の目的	対象	市内に6次産業化認定事業者又は認定見込みの者、認定農業者、認定新規就農者、農業法人、農業者の組織する団体であり、コロナの影響を受けている(前年同月比10%以上の売上)			に対して	
	手段	県産農産物の加工及び農産物加工品の流通・販売			を行うことで	
	受益者	農業者			が(を)	
	意図	商品開発及び事業化をすることにより、機械・器具等を整備し農業経営の安定化を図る			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	令和 2 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし		○ 負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	H31決算	R2決算	R3予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	
	0	0	1,333	0	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	令和2年度のみである、単年度事業					
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	2,233 千円	R2歳出決算額	2,233 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		59.7 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	地産地消		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱		(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先			農業者		(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	市内に住所及び農地を有する農家等				に対して	
	手段	里芋・にんにく・たまねぎ				を行うことで	
	受益者	地域の農業者				が(を)	
	意図	農産物の生産・消費拡大と所得の向上を図る				という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 30 年度			
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ( )		
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	0	0	2,000	○単価を定めている→算式	50,000円/10a等
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円		R2歳出決算額	0千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		
R2歳入に占める補助・負担金の割合		%		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	スマート農業技術導入支援		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
				③支出先	市内の認定農業者、認定新規就農者、農業法人
	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
	(5)個人に対する補助金・負担金				
	(6)その他				
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合 1/3 負担額 4,302 千円		
⑤支出の目的	対象	市内の認定農業者、認定新規就農者、農業法人		に対して	
	手段	労働力不足に対応する支援		を行うことで	
	受益者	農業者		が(を)	
	意図	農作業の省力化・効率化・軽労化をすることにより、経営の安定化を図ることができる		という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	令和 2 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( 非該当 )	
⑧構成員の負担	負担なし		<input checked="" type="checkbox"/> 負担あり	負担額 あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	県1/3
	0	0	1,303	0	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	4,302 千円	R2歳出決算額	4,302 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		30.3 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業6次産業化促進支援事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
	③支出先			6次産業化認定事業者又は認定見込みの者、認定農業者、認定新規就農者、農業法人、農業者の組織する団体		
		<input checked="" type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金				
		<input type="radio"/> (6)その他				
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/2~1/3	負担額	上限 1,000 千円
⑤支出の目的	対象	市内に6次産業化認定事業者又は認定見込みの者、認定農業者、認定新規就農者、農業法人、農業者の組織する団体			に対して	
	手段	県産農産物の加工及び農産物加工品の流通・販売			を行うことで	
	受益者	農業者			が(を)	
	意図	商品開発及び事業化をすることにより、機械・器具等を整備し農業経営の安定化を図る			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 30 年度		
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課		<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし		<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	H31決算	R2決算	R3予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	
	173	0	0	0	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	
			定額補助・負担	その他 ( )		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0 千円		R2歳出決算額	0 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		
R2歳入に占める補助・負担金の割合		%		<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	産地収益力向上生産支援事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	1/2	負担額	0千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	めぐみの農業協同組合				に対して
	手段	共同利用施設整備(集出荷貯蔵施設)				を行うことで
	受益者	農業者				が(を)
	意図	需要・高単価が期待できる年内出荷を増加させ農業者の所得向上を図る				という状態にする
⑥期間	R2年4月1日～R3年3月31日			補助・負担開始年度	平成30年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他( )		
⑧構成員の負担	負担なし		<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	
	8,700	0	0	0	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	
			定額補助・負担	その他( )		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円		R2歳出決算額	0千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない	翌年度繰越額	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	集落営農組織化・法人化支援事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱				
③支出先	集落営農組織				
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	10/10	負担額
⑤支出の目的	対象	複数の農業者による集落営農組織		に対して	
	手段	組織化・法人化に必要な取組みの支援		を行うことで	
	受益者	集落営農組織		が(を)	
	意図	地域の中心となる経営体となる		という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 27 年度	
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他	( 非該当 )	
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	173	0	0	0	単価を定めている→算式	
					<input checked="" type="checkbox"/> 定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円	R2歳出決算額	0千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		0.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	被災農地営農再開緊急支援事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠			関市農業災害復旧事業補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
	③支出先			農業者、農業任意組織、農業法人	<input checked="" type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
					(6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	国が指定する激甚災害で被災した農地			に対して
	手段	農地、農業用施設の復旧事業に支援			を行うことで
	受益者	農業者、農業法人等			が(を)
	意図	耕作放棄地の発生を防止し、農業生産の向上を図る			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 30 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	
	3,005	0	0	0	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円		R2歳出決算額	0千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない	翌年度繰越額	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	有り	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input checked="" type="radio"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121050
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業祭補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市農林業振興補助金交付要綱				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 中濃農業祭実行委員会・関にし秋の祭典実行委員会・津保川産業祭実行委員会・上之保ゆず祭り実行委員会				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
					(5)個人に対する補助金・負担金	
	④国・県の負担				<input type="radio"/>	(6)その他
なし				国の負担あり	負担割合	負担額
			県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	農業祭等の各実行委員会			に対して	
	手段	農業祭開催費用への補助			を行うことで	
	受益者	農家及び市民			が(を)	
	意図	生産意欲の向上及び地域農業の振興と農家相互の連携及び市民との交流を深める			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度		年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		<input type="radio"/>	主に支出先団体	その他 ( )	
⑧構成員の負担	負担なし		<input type="radio"/>	負担あり	負担額 0 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	H31決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	8,872	4,347	0	5,412	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	<input type="radio"/>
②過去における見直し状況	H22から、津保川産業祭は隔年の開催となった。					
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円		R2歳出決算額	0千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		#DIV/0!	%	決算額を把握していない	
		翌年度繰越額		0千円		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	関にし秋の祭典補助金について、事業規模に対する補助金割合が高いため、補助金額を見直すことが検討課題となっている。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	<input type="radio"/>	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	事業規模に対する補助金割合を勘案し、補助金の減額を検討する必要がある。			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121300
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	経営所得安定対策事務費補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 関市農林業振興補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 関市農業再生協議会			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
(5)個人に対する補助金・負担金						
④国・県の負担		なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		○県の負担あり	負担割合	10/10	負担額	2169 千円
⑤支出の目的	対象	関市農業再生協議会				に対して
	手段	事務に係る経費に対して補助				を行うことで
	受益者	農業者				が(を)
	意図	経営所得安定対策への加入を促進させ、農業者の所得の向上に結び付く				という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	平成 3 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課	主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○補助・負担率を定めている→補助率	10/10
	2,138	2,170	2,169	2,300	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	定額補助・負担 ( ) その他 ( )					
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	2,169 千円	R2歳出決算額	2,169 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121700
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	学校給食地産地消推進事業補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	関市農林業振興事業補助金交付要綱				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先				(5)個人に対する補助金・負担金	
	岐阜県農業協同組合中央会				(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/3	負担額	488 千円
⑤支出の目的	対象	岐阜県農業協同組合中央会			に対して	
	手段	学校給食において、安心・安全な県産農産物を積極的に活用する、より身近な地域段階からの地産地消の食農教育の推進			を行うことで	
	受益者	児童・生徒			が(を)	
	意図	「食」を選択する力を習得するとともに、将来にわたって県産農産物に愛着を持つ			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	13	年度
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	1/3
	1,430	1,465	977	1,600	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	1,454 千円		R2歳出決算額	1,454 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	67.2 %		決算額を把握していない		
翌年度繰越額		0 千円				

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	地産地消の推進のため、事業を強化する必要がある。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	新規法人化組織設立支援事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先		農業法人	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				○(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	新規法人			に対して
	手段	営農に必要な農業用機械・施設設備整備			を行うことで
	受益者	交付要件を満たす新規法人			が(を)
	意図	担い手の確保、農地の多面的機能の発揮、荒廃農地の発生抑制、地域農業の活性化をし経営の安定化させる			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 30 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○補助・負担率を定めている→補助率	市1/2
	4,885	11,644	0	10,000	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	0千円	R2歳出決算額	0千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	集落営農組織強化支援事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
	③支出先			農業法人、集落営農組織	<input checked="" type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
					(6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	農業法人、集落営農組織			に対して
	手段	市が奨励する作物の新規栽培、農地の適正な維持管理に必要な農業用機械及び施設・設備整備			を行うことで
	受益者	交付要件を満たす農業法人・集落営農組織			が(を)
	意図	水田の維持による多面的機能の発揮、新たな需給調整への対応、地域農業及び地域の活性化をさせる			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 30 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	市1/2
	1,376	10,020	110	3,000	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円	R2歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業次世代給付金給付事業補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	関市農業次世代就農給付金給付要綱				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
	③支出先				○(5)個人に対する補助金・負担金		
	交付要件を満たす新規就農者				(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	10/10	負担額	12,000	千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対象]						に対して
	手段	農業次世代給付金の給付					を行うことで
	受益者	交付要件を満たす新規就農者					が(を)
	意図	就農直後の所得を確保しながら営農を継続することにより、農業の担い手になる					という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	平成	24	年度
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課		<input type="radio"/> 主に支出先団体		<input type="radio"/> その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	8,834	14,031	12,000	9,750	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	その他( )		
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円		R2歳出決算額	千円		翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合 ##### %				<input type="radio"/>	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	後継者等就農給付金事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先			交付要件を満たす新規就農者		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
		○(5)個人に対する補助金・負担金				
		(6)その他				
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		○県の負担あり	負担割合	10/10	負担額	500 千円
⑤支出の目的	対象	18歳以上55歳未満の1年経過していない新規就農者			に対して	
	手段	後継者等就農給付金			を行うことで	
	受益者	交付要件を満たす新規就農者			が(を)	
	意図	就農直後の経営確立を支援しながら新規就農者の育成確保により、農業の担い手になる			という状態にする	
⑥期間	R2年4月1日～R3年3月31日			補助・負担開始年度		年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○その他(非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,000	1,000	500	2,000	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円	R2歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	乳用牛群能力向上事業補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市乳用牛群能力向上事業補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先		関市畜産振興会酪農部会			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり		負担割合	負担額
			<input type="checkbox"/> 県の負担あり		負担割合	負担額
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会酪農部会			に対して	
	手段	乳用雌牛の導入に要した費用の一部補助			を行うことで	
	受益者	酪農農家			が(を)	
	意図	牛群の能力向上による酪農経営の安定を図る			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	昭和 59 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	350	350	350	350	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	購入20,000円/頭他
②過去における見直し状況	以前に500千円→350千円へ削減					
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	2,552千円	R2歳出決算額	2,552千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		13.7%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	乳用牛の乳質向上のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	牛群の能力向上のため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	酪農家の経営の安定及び乳用牛産地の育成を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産業の振興と安全で安心な牛乳の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	肉用牛肉質向上事業補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	関市肉用牛肉質向上事業補助金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
②支出の根拠	関市肉用牛肉質向上事業補助金交付要綱				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
③支出先	関市畜産振興会肉牛部会				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
					(5)個人に対する補助金・負担金
			(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額 千円
		県の負担あり	負担割合		負担額 千円
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会肉用牛部会			に対して
	手段	肉牛の飼養管理に要した費用の一部補助			を行うことで
	受益者	肉用牛農家			が(を)
	意図	肉用牛の肉質を向上する			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	59 年度
⑦事務局体制	主に市の担当課	主に支出先団体	○	その他 (めぐみの農業協同組合)	
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	250	250	250	250	単価を定めている→算式	
				○	定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	以前に350千円→250千円へ削減					
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	2,443千円	R2歳出決算額	2,443千円	翌年度繰越額	0千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		10.2%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	肉用牛の肉質向上のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	健康な肉牛の飼養管理のため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	肉用牛肥育農家の経営の安定及び肉用牛産地の育成を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産業の振興と安全で安心な牛肉の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市畜産振興事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市畜産振興事業補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 関市畜産振興会					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
						(6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会				に対して
	手段	事業に要した経費の一部補助				を行うことで
	受益者	関市畜産振興会 会員				が(を)
	意図	市内の畜産業が発展する				という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	46	年度
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	500	500	500	500	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況	平成21年度に580千円→500千円へ削減					
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	5,146千円	R2歳出決算額	5,142千円	翌年度繰越額	4千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		9.7%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	市内の畜産業の振興のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	養豚、養鶏、酪農、肉牛と部会ごとの運営を行っており、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	口蹄疫、鳥インフルエンザなど家畜伝染病の防疫に対する事業活動の役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産業の振興と安全で安心な畜産物の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	効率的乳用後継牛確保対策支援事業補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱			○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	関市畜産振興会酪農部会			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	675 千円	
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会酪農部会			に対して		
	手段	後継牛確保のための経費を補助			を行うことで		
	受益者	酪農農家			が(を)		
	意図	安定的な後継牛の確保により、経営の安定を図る			という状態にする		
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	24 年度		
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ( )				
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	960	900	1,350	450	○単価を定めている→算式	30千円/頭
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	1,350 千円	R2歳出決算額	1,350 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	乳用牛の乳質向上のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	牛群の能力向上のため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	酪農家の経営の安定及び乳用牛産地の育成を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産業の振興と安全で安心な牛乳の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		



令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	乳用初妊牛増頭対策支援事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	関市畜産振興会酪農部会				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
							(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
							(5)個人に対する補助金・負担金	
							(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円		
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	520 千円		
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会酪農部会				に対して		
	手段	初妊牛の導入に対する補助				を行うことで		
	受益者	市内酪農農家				が(を)		
	意図	初妊牛の増頭により酪農経営の安定を図る				という状態にする		
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 27 年度				
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ( )					
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円				

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	900	910	1,040	1,950	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	130千円/頭	
					定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況	令和元年度に100千円→130千円に増額						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	1,040 千円	R2歳出決算額	1,040 千円	翌年度繰越額	千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合			100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	飛騨牛生産基盤強化対策事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	JAめぐみの				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
							(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
							(5)個人に対する補助金・負担金	
							(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円		
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/4	負担額	234 千円		
⑤支出の目的	対象	飛騨牛生産者				に対して		
	手段	黒毛和種繁殖雌牛の保留又は導入に係る経費の補助				を行うことで		
	受益者	県内肉用牛生産者				が(を)		
	意図	飛騨牛の生産振興と繁殖基盤の推進を図る				という状態にする		
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	26	年度		
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> 其他	(めぐみの農業協同組合)				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input checked="" type="checkbox"/> 負担あり	負担額	1頭	あたり	468,000 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	1/8
	117	58	117	117	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
	定額補助・負担		その他( )			
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	1,219 千円	R2歳出決算額	1,219 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		9.6 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、全国でもトップクラスの評価を受ける飛騨牛が安定的に提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	繁殖雌牛増頭支援事業				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市農業振興補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 和牛繁殖雌牛農家					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						○(5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					なし
○県の負担あり					負担割合	10/10
⑤支出の目的	対象	和牛繁殖雌牛農家			に対して	
	手段	繁殖雌牛の導入に対する補助			を行うことで	
	受益者	市内繁殖農家			が(を)	
	意図	繁殖雌牛の増頭により飛騨牛の生産基盤の安定を図る			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日				補助・負担開始年度	平成 28 年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体		その他 ( )	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	900	2,400	1,600	2,400	○単価を定めている→算式	100千円/頭
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	1,600千円		R2歳出決算額	1,600千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	100.0%		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	水産業振興補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	板取支派川増殖組合				に対して
	手段	魚族の増殖保護、漁場の利用に関する施設管理				を行うことで
	受益者	水産業者				が(を)
	意図	生活環境の保全と漁族の資源をもち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する				という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	平成 29 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ( )
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額 あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	4,000	2,000	2,000	2,000	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	3,464 千円		R2歳出決算額	3,464 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合			57.7 %	翌年度繰越額 0 千円	
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	清流への稚鮎放流補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市漁業振興補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5)個人に対する補助金・負担金	
					(6)その他	
③支出先	長良川中央漁業協同組合					
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額 千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額 千円	
⑤支出の目的	対象	長良川中央漁業協同組合			に対して	
	手段	稚鮎放流			を行うことで	
	受益者	水産業者			が(を)	
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 28 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	425	425	406	425	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	15,019 千円	R2歳出決算額	15,019 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		2.7 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	清流への稚鮎放流補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市漁業振興補助金交付要綱				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 津保川中央漁業協同組合				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5)個人に対する補助金・負担金	
	④国・県の負担				○なし	国の負担あり 負担割合
県の負担あり 負担割合				負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	津保川中央漁業協同組合			に対して	
	手段	稚鮎放流			を行うことで	
	受益者	水産業者			が(を)	
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	17 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	250	250	243	250	単価を定めている→算式	
				○定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	9,631 千円	R2歳出決算額	9,631 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		2.5 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	清流への稚鮎放流補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市漁業振興補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先	板取川上流漁業協同組合			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5)個人に対する補助金・負担金	
	(6)その他					
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	板取川上流漁業協同組合			に対して	
	手段	稚鮎放流			を行うことで	
	受益者	水産業者			が(を)	
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日	~	R 3 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 30 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率		
	360	360	360	360	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式		
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担						<input type="checkbox"/> その他 ( )
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	12,210 千円	R2歳出決算額	12,210 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	2.9 %	<input type="checkbox"/> 決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	水産多面的機能発揮対策事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	7/10	負担額	278 千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	3/20	負担額	59 千円
⑤支出の目的	対象	長良川中央漁業協同組合				に対して
	手段	漁業環境の保全活動				を行うことで
	受益者	水産業者				が(を)
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する				という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 30 年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	3/20
	18	22	20	162	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	397 千円		R2歳出決算額	397 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	5.0 %		翌年度繰越額 0 千円		
		決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			